

公 示

(木曾川長良川ゴミマップ作成業務委託について)

次のとおり公示します。

平成 30 年 5 月 30 日

国土交通省中部地方整備局
木曾川下流河川事務所長 飯野光則

1. 公示の概要等

(1) 委託名

平成 30 年度 木曾川長良川ゴミマップ作成業務

(2) 委託内容

「特定非営利活動法人木曾三川ごみの会」の活動を通じて収集した情報等をもとに、木曾川及び長良川に囲まれた長島輪中（桑名市長島町）の河川内における漂流ゴミ、不法投棄ゴミの発生状況等を取りまとめたゴミマップを作成することを河川法 99 条に基づき、河川協力団体、一般財団法人又は一般社団法人（以下「河川協力団体等」という。）に委託するものである。

(3) 委託期間

契約締結の翌日 から 平成 31 年 3 月 15 日 まで

(4) 団体の選定要件

団体の選定は、2. に示す参加資格要件を有することを証明する書類（別紙）を以て審査し選定するものとする。なお、参加要件を満たす団体が複数ある場合は、申請資料審査における得点の高い者を特定する。また、特定後、単価及び歩掛り協議を行い、その後、木曾川下流河川事務所との委託契約に関する協議成立後、契約を締結する。

2. 参加資格要件

本業務委託の対象となる者は、以下の要件を満たすものとする。

- ① 河川協力団体、一般社団法人または一般財団法人であること。
- ② 一般社団法人または一般財団法人については、河川法第99条第1項に規定する事項を適正かつ確実に実施するに足りる経理的及び技術的な基礎を有するものであること。
- ③ 当該委託内容に関する活動実績及び活動実施体制があること。

3. 本業務委託契約に関する手続き等

(1) 参加資格の確認方法等

本業務委託の参加希望者は、2. に掲げる競争参加資格を有することを証するため、次に掲げる資料を提出し、参加資格の有無について確認を受けなければならない。

① 提出資料

1) 申請書

2) 一般社団法人または一般財団法人については、河川法第99条第1項に規定する事項を適正かつ確実に実施するに足りる経理的及び技術的な基礎を有するものであることを証する書面（河川協力団体指定準則（平成25年10月15日国水環大69号）第4一、四、五、七に定める書類）

3) 河川協力団体については、河川協力団体指定証の写し

② 提出期間

平成30年5月31日（木曜日）から平成30年6月7日（木曜日）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時30分から17時00分まで

③ 提出場所

〒511-0002 桑名市大字福島465 電話：0594-24-5717
国土交通省中部地方整備局
木曾川下流河川事務所管理課

④ 提出方法

持参又は郵送等により提出するものとする。

なお、郵送は書留郵便に限る。託送は書留郵便と同等のものに限る。提出期間内に必着とする。

(2) 結果通知の方法等

参加資格要件の確認は、申請書提出期限の日を以て行うものとし、その結果は、平成30年6月14日までに書面にて通知するものとする。

(3) 申請書の評価方法等

申請書の評価項目等は、以下のとおりである。

- 各項目について採点を行い、その合計が60点以上の場合に審査基準を満たすものとする。
- 各項目のいずれかで0点となった場合は、審査基準を満たさないものとする。
- 配点は以下のとおりとする。
- 特定された者に対し、書面（特定通知書）により通知するものとする。

	項目	確認内容	配点	
活動実績	一 継続性	近年、概ね5年間にわたり、河川管理に資する非営利活動を継続的にやっていること。 (配点35点)		
		活動実績	① 委託内容を実行できる木曽川下流での実績であるか。	20点
		継続性	② 過去から継続した実績であるか。	15点
	二 公共性	一の非営利活動が、河川管理者から後援又は共同で実施した活動、その他河川管理者との協力関係が認められる活動であること。 (配点15点)		
		公共性	③ 活動実績に公共性が認められる。	15点
業務実施体制	三 実効性	過去の業務実績等を勘案し、業務実施計画の実効性が認められること。 (配点50点)		
		① 過去の業務実施体制等を勘案し、業務実施計画の適正かつ円滑な実施に必要な体制が確保されている。	25点	
		② 過去の業務実績等を勘案し、業務実施計画に妥当性がある。	25点	

4. 異議申し立て

参加資格要件を満たさないと認められた者は、当職に対して参加資格がないと認めた理由等について、次のとおり説明を求めることができる。（様式は自由とする）

① 提出期限

平成30年6月14日（木曜日）から平成30年6月20日（水曜日）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時30分から17時00分まで

② 提出場所：3.（1）③と同じ。

③ 提出方法：ファクシミリ又は持参もしくは郵送等により送付するものとする。

数量総括表

契約件名： 平成30年度 木曽川長良川ゴミマップ作成業務

費目	工種	種別	細別	名称	規格	単位	員数	単価	金額	摘要
平成30年度 木曽川長良川ゴミマップ作成業務										
漂流ゴミ調査						式	1			
ゴミマップ作成						式	1			
ゴミランキング作成						式	1			
業務打合せ						式	1			
報告書作成						式	1			
直接費計						式	1			
事務費						式	1			
間接費計						式	1			
業務価格						式	1			
消費税相当額						式	1			
業務委託料						式	1			

平成30年度木曾川長良川ゴミマップ作成業務仕様書

第1条 適用範囲

本仕様書は、中部地方整備局木曾川下流河川事務所の実施する「平成30年度木曾川長良川ゴミマップ作成業務」（以下、「業務」という。）に適用する。

第2条 業務目的

本業務は、特定非営利活動法人木曾三川ごみの会の活動を通じて収集した情報等をもとに、木曾川及び長良川に囲まれた長島輪中（桑名市長島町）の河川内における漂流ゴミ、不法投棄ゴミの発生状況等を取りまとめたゴミマップを作成するものである。

第3条 業務内容

1. 漂流ゴミ調査

船舶により水面から漂流ゴミ分布状況を発注者と受託者で把握を行うことにより、情報の共有を図る。

状況把握の箇所、時期、回数は下記のとおりとする。

- ① 実施箇所は、長島輪中に接する木曾川右岸及び長良川（揖斐川）左岸とする。
- ② 実施時期及び回数は、出水期前及び主な出水直後もしくは出水期後に各1回、計2回とする。
- ③ 実施箇所、時期、回数については、出水状況及び漂流ゴミの状況に応じて発注者と受託者で協議の上詳細を決定する。

2. ゴミマップ作成

資料整理（作成要領）は以下のとおりとする。

- ① ゴミの回収実績をゴミ袋の数で表示し、地先毎に整理する。
- ② 木曾川、長良川の河川別に整理する。
- ③ ゴミの投棄位置ならびに種類の表示を行う。
- ④ 漂流ゴミの分布状況の表示を行う。
- ⑤ その他必要に応じて写真等を活用して整理する。

3. ゴミランキング作成

資料作成（作成要領）は以下のとおりとする。

- ① ゴミ種類別のランキング表を作成する。
- ② 地先毎に投棄されているゴミの種類を区分した表を作成する。

4. 業務打合せ

業務打合せは3回（業務着手時、中間時、成果品納入時）とする。

5. 報告書作成

本業務の内容をとりまとめ報告書を作成する。

第4条 資料等の貸与

本業務実施にあたって必要な地形図等は中部地方整備局木曾川下流河川事務所より貸与する。

第5条 成果品及び提出先

1. 成果品

報告書（ゴミマップ、ゴミランキング）・・・・・・・・・・3部

2. 提出先

木曾川下流河川事務所 管理課

第6条 疑義

本業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、発注者と受託者で協議して決定する。

以 上

申 請 書

1. 委 託 名 : 平成30年度 木曾川長良川ゴミマップ作成業務

2. 提 出 日

・平成____年____月____日

3. 法 人 等 名

・法人等名 : _____

・代表者名 : _____

4. 活 動 実 績

(1) 活動実績及び継続性 (活動内容及び活動期間)

- ・以下に「木曾川長良川ゴミマップ作成業務」に関する具体的な活動実績を記載してください (複数ある場合は複数可、ただし、活動内容ごとにおける活動期間を審査する)。
- ・「木曾川長良川ゴミマップ作成業務」に関する活動実績は、平成25年～29年までの実績 (過去5年間) としてください。
- ・《 》に、「木曾川長良川ゴミマップ作成業務」に関するおおよその活動開始時期を記載してください。
- ・また、活動期間中の毎年の活動が分かる資料 (写し) を添付してください (例: 河川管理者等が発行するパンフレット、参加認定証、当該法人等が作成している活動実績報告書等)。

■木曾川長良川ゴミマップ作成業務に関する実績について

■木曾川長良川ゴミマップ作成業務に関する活動開始時期

: 《 平成 ____ 年 ____ 月から 》

(2) 公 共 性 (活動実績)

- ・「木曾川長良川ゴミマップ作成業務に関する活動実績」について、次のA～Dいずれかに○印を付して、《 》内に具体的な内容を記載してください(複数ある場合は複数可)。
- ・また、その実績が分かる資料(写し)を添付してください(例：河川管理者等主催のクリーンアップ等河川清掃、水生生物調査等環境調査、防災訓練、委員会等に共催・後援・委員等協力者として参加していることが分かる資料(協議書、申請書、委嘱状、表彰状等))。

A. 当該実績が、河川管理者が行う活動との共催又は後援となっている等、公式の協力関係がある。

(_____)

B. 当該実績に河川管理者との共同の企画あるいは活動がある。

(_____)

C. 当該実績に関して、河川管理者から協力に関する表彰実績がある。

(_____)

D. 上記A～Cに準じた河川管理者が認めるような活動実績がある。

(_____)

5. 当該委託に関する活動実施計画

(1) 実 効 性 (実施体制、実施計画)

① 実施時期、スケジュール

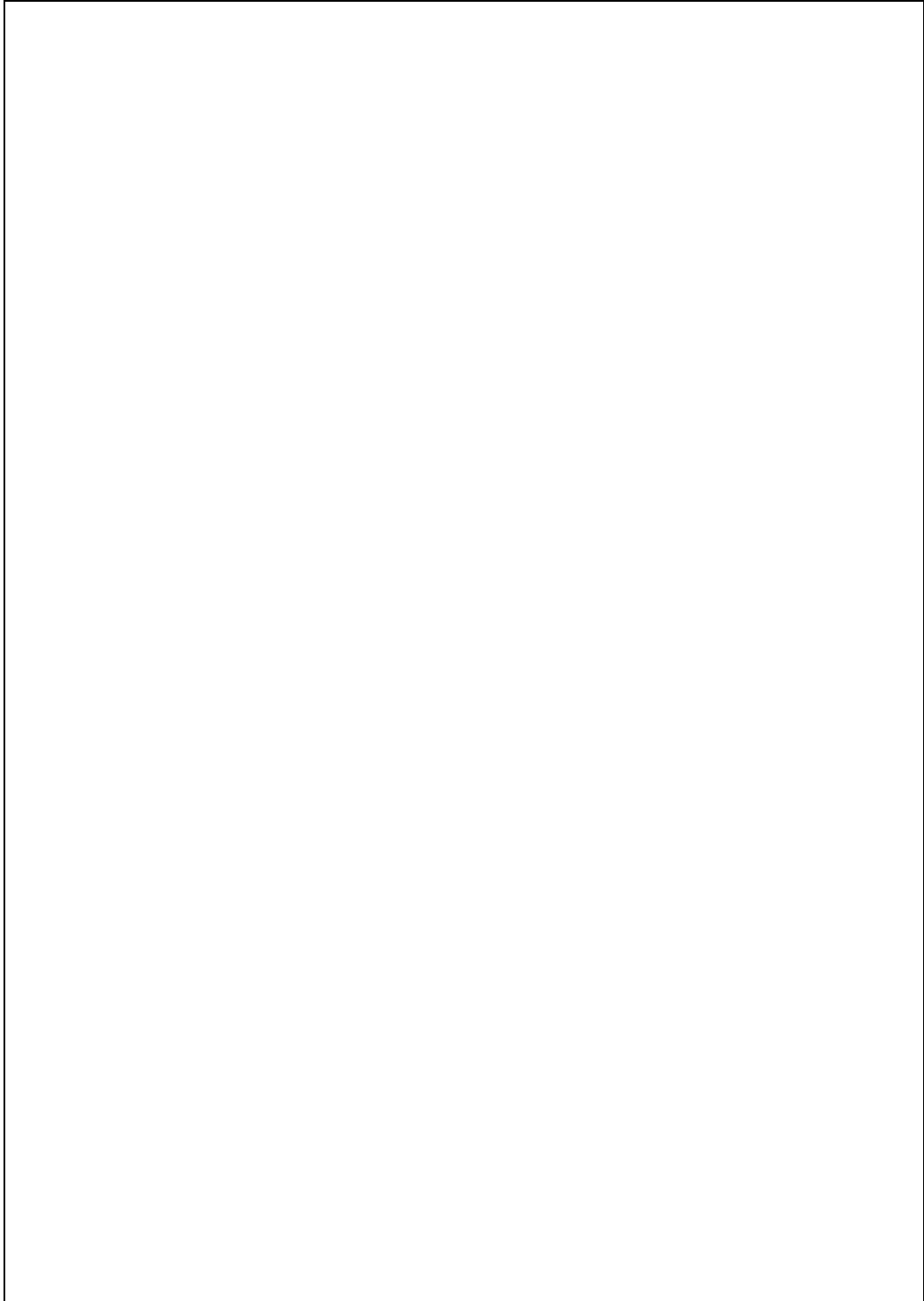
※おおよその活動時期を文章又は表形式により記載願います。

--

② 実施内容と配置人員

※ 具体的な実施内容と配置人員を記載願います。

※ 活動内容のイメージが分かる図・写真等があれば貼付願います。

A large empty rectangular box with a black border, intended for pasting content as instructed in the text above.

以上